学校番号	１０２

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂版　古典Ｂ」　（数研出版）						
副教材等	「体系古典文法」（数研出版）　「新明説漢文」（尚文出版） 「体系古典文法学習ノート」（数研出版） 「力をつける古典 ステップ１」（数研出版） 「大学入学 共通テスト演習 古典」（いいずな書店） 「Key&Point 古文単語 330 三訂版」（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・副教材やプリントを徹底して学習することで、基礎力（古文…重要単語・敬語・文法、漢文…重要漢字・句法等）を定着させ、応用力の向上を目指す。
・本文の予習・復習、及び、小テストの勉強を活用し、学習サイクルを完成させる。

２　学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。			古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 小テスト 課題など			定期考査 小テスト 課題など	定期考査 小テスト 課題など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容・学習課題に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	源氏物語「桐壺」	本文の学習に先立って、副教材・プリントを使って敬語の学習を行う。 ○登場人物の人間関係、及びそれぞれの行動や心情を理解する。 ・敬語について理解する。	○			○	○	a:重要古語の意味を調べている。 d:人物の関係を的確に捉えている。 e:後宮制度について理解している。 e:敬語法を理解している。 e:正しい現代語訳ができる。	定期考査 小テスト 課題など
	故事「買履忘度」「華歆・王朗」	○込められた寓意を理解し、『韓非子』の現実主義的な考え方に触れる。 ・訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・疑問の句法を理解する。 ・副教材・プリントを使って選択の句法を理解する。 ○華歆と王朗の人物像を読み取る。 ・副教材・プリントを使って反語の句法を理解する。	○			○	○	a:文章の内容を正しく理解している。 d:訓点に従って正しく訓読し、白文でも読むことができる。また、書き下し文に直すことができる。 e:疑問・選択・反語の句法を理解している。 e:正しい現代語訳ができる。	定期考査 小テスト 課題など
	更級日記「東路の道の果て」「物語」	本文の学習に先立って、副教材・プリントを使って助詞の学習を行う。 ○平安時代の日記文学というジャンルの作品であることを理解する。 ○少女時代から晩年に至るまでの四十年間にわたる生涯を記した回想記であることを理解する。 ○受領階級の貴族の状況について知識を得る。 ○物語への憧れや、『源氏物語』を入手して没頭する心情を読み取る。	○			○	○	a:重要古語の意味を調べている。 d:作者が東国を離れるときに感じた悲しさや、夢想的な性格が読み取れている。 e:助動詞、助詞の用法を理解している。 e:正しい現代語訳ができる。	定期考査 小テスト 課題など
	史伝「鴻門之会」	○劇的な描写の文章に触れ、面白さを味わう。 ○秦から漢への歴史的な背景を理解する。 ○登場人物の心情を読み取る。 ・訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・副教材・プリントを使って反語・願望・仮定の句法を理解する。	○			○	○	a:文章の内容を正しく理解している。 d:訓点に従って正しく訓読し、白文でも読むことができる。また、書き下し文に直すことができる。 e:使役・反語・受身・否定・疑問・願望・仮定の句形を理解している。 e:句形の正しい理解に即して現代語訳ができる。	定期考査 小テスト 課題など

2学期	大鏡 花山天皇の出家」「三船の才」	○「歴史物語」というジャンルの作品であることを理解する。 ○登場人物の言動や語り手の評価から、人物像を理解する。 ・敬語について正しく理解し、敬語表現を登場人物の把握や人物関係の的確な理解に活用する。 ・助動詞・助詞を正確に理解する。	○			○	○	a:重要古語の意味を調べている。 d:物語の筋の理解にとどまらず、作品の主題を理解している。 ｅ:藤原氏を中心として、平安時代の権力争いについて理解している。 ｅ:敬語、助動詞、助詞を理解している。 ｅ:正しい現代語訳ができる。	定期考査 小テスト 課題など
	平家物語 忠度の都落ち」	○軍記物語の歴史と『平家物語』の文学史的位置を確認する。 ○登場人物が描く思いと、その場面で取る行動の原理を考える。 ・音便が多用される背景に注意する。 ・敬語を理解する。	○			○	○	a:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 d:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を理解する。 e:語り物としての、和漢混交文体から生まれるリズムの良さを味わう。 e:音便・敬語を理解し、正しい現代語訳ができる。	定期考査 小テスト 課題など
	逸話 梁上君子」「三横」	○漢文の世界への親しみを深める。 ○陳寔が盗人を教え導いた心情を理解する。 ・二重否定・部分否定・再読文字を再確認する。 ○周処の心情と陸雲が周処に与えた助言の意図を理解する。 ・受身・使役・反語を理解する。	○			○	○	a:話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 d:陳寔が、人は自ら励まなければならないという考えに立ち、寛容とやさしさで盗人を教え導いたことを理解する。 e:既習の二重否定・部分否定・再度文字を確認し、正しい現代語訳ができる。 d:周処が心を入れ替えようとした心情と、陸雲が周処にどのような助言をしたのかを理解する。 e:既習の受身・使役・反語を確認し、正しい現代語訳ができる。	定期考査 小テスト 課題など
	枕草子 宮に初めて参りたるころ」	○作品に描かれた平安時代における後宮生活の一端を直に読み取る。 ○作者の、中宮定子に対する意識や思いを読み取る。 ・敬語の用法を整理・復習する。	○			○	○	a:重要古語の意味を調べている。 d:出仕当時の初々しい姿を知ることで、清少納言という固定されがちな作者像を多面的にとらえる。 e:敬語表現を根拠として動作主を確認しながら、正しく現代語訳ができる。	定期考査 小テスト 課題など

3学期	蜻蛉日記「うつろひたる菊」	○『蜻蛉日記』が、上流階級の貴族の妻となった女性が、自らの内面を赤裸々に記した、女性の手による最初の日記文学であることを理解する。 ○一夫多妻制の結婚生活において苦悩する作者の心情を読み取る。 作者の思想や感情を読み取る。 ・掛詞に着目して和歌を読解鑑賞するという力を強化し、贈答歌の手法を学ぶ。	○			○	○	a:中古の日記を読んで、作者の思想や感情を読み取ろうとしている。 a:重要古語の意味を調べている。 d:平安時代の婚姻制度を知り、文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 e:主語や省略されている事柄、指示内容などを考えて文脈をたどり、正しい現代語訳ができる。 e:和歌の修辞技巧を理解している。	定期考査 小テスト 課題など
	紫式部日記「土御門邸の秋」	○本作品が、当時の貴族社会をうかがい知る資料としての意味を持ち、また、自身の内面を徹底的に追求した「日記文学」であることを理解する。	○			○	○	a:出産間近の彰子への賛美、優美な道長への賛美の中でも、自己を見つめる目を失わない作者について理解する。 a:重要古語の意味を調べている。 d:当時の貴族社会における、荘厳で風情ある秋の土御門邸の様子が視覚的・聴覚的にイメージできる。 d:平安貴族の生活、文化について理解を深めている。 e:本文を正しく現代語訳できる。	定期考査 小テスト 課題など
	小説「壺鬼」	○志怪小説の文章を読み味わい、話の展開を把握する。 ・疑問・限定・禁止の句法を理解する。 ・副教材・プリントを使って未習の漢文の句法(詠嘆・限定・累加・抑揚)を学習する。	○			○	○	a:志怪小説を代表する『捜神記』の文章を読み味わう。 d:話の展開を把握し、幽霊と人間との性質についての対照的な描写を押さえながら、展開を把握する。 d:中国と日本での「鬼」という言葉の意味の違いを理解する。 e:既習の疑問・禁止を確認し、正しい現代語訳ができる。 e:詠嘆・限定・累加・抑揚の句法を理解する	定期考査 小テスト 課題など

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。